

## 超高齢社会をいきいきと生きるために、 図書館で気軽に認知症予防

富山県 魚津市立図書館

### 基本データ

所在地	魚津市本江 1940
職員数	13人
うち司書数	9人
蔵書数	291,200冊
利用登録者数	8,050人
年間貸出冊数	276,706冊
(児童用図書貸出数	73,480冊)
※利用登録者数の値は、実際に稼働している有効登録者の値。	

### テーマ・活動のねらい等

【テーマ】様々な利用者へのサービスの充実

【活動のねらい】

- 当館のある魚津市は、高齢化率(65歳以上の人口が占める割合)が33%である。新オレンジプラン(認知症施策推進総合戦略)では、「認知症の人を含む高齢者に優しい地域づくりの推進」を掲げており、気軽に人が足を運び、豊富な情報を有するという図書館の特徴を生かして、平成30年度から高齢者向けのサービスを展開した。

### 取組・活動の概要

#### (1)「図書館を活用した認知症予防講座」の開講

- 元気な中高年世代を想定し2回コースで開講。
- 1回目は、医療機関から精神保健福祉士と作業療法士を招いて認知症予防の基礎知識と運動を学んだ。
- 2回目は、司書が講師となって図書館活用講座を実施した。



図書館で認知症予防(コグニサイズ)



司書による分類のはなし

#### (2)「認知症サポーター養成講座」の開講

- 市民、来館者と一緒に図書館職員も受講した。

#### (3) 認知症サポートコーナーの新設

- 平成31年2月から、NDC分類を横断し認知症や高齢者の健康づくりに関する本400冊を集めたコーナーを設け、市内関係機関のパンフレットや相談会案内パンフレットも置いた。大活字本コーナーを配置換えし同コーナーに隣接させた。



認知症コーナー

#### (4) 幅広い世代が参加できる教室の開講

- 元気な高齢者から子どもまで参加できる「おりがみ教室」(月1回)を開講した。本を借りたらポイントがつくカードを用意し、受講者同士交流しながら折紙と読書に親しめる教室とした。



おりがみ教室

トとする年齢層にあった企画や来館したことがない人を呼び込む工夫が必要である。

#### 取組・活動の工夫や特徴

- 保健・医療分野との連携、人材活用：  
図書館資料以外の情報(チラシ)提供、医療分野の講師招へい。
- 既存事業の実施方法の変更・工夫：  
認知症サポーター養成講座は、会場を地域から図書館に変更したもの。今まで参加のなかった若い年代の参加があった。
- 低予算での事業実施：  
認知症関連講座は、主に内部の職員で講師を務め、外部講師の謝礼のみの経費で実施。おりがみ教室は、講師謝礼と材料代相当の受講料を集め、独立採算による運営とした。

#### 取組・活動の成果や今後の展望

- 2年間でサポーター養成講座を3回、予防講座を2回開催し、延べ110人が参加した。
- アンケートでは、「図書館を利用したい」「今まで気付かなかった図書館のことがわかり興味を持った」と積極的な意見が寄せられた。
- 参加した方の満足度は高いが、参加者が少ないのが課題。認知症への無関心やマイナスイメージが足を遠ざける要因になっており、ターゲット